

北海道身体障害者新聞

発行人 (社団)北海道身体障害者福祉協会会長 赤坂勝
札幌市中央区北2条西7丁目(かてる2-7)
電話 011-251-1551
ホームページ www.hokushinkyoo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円 (会費を含む)
非会員 同 2,000円

異動のご挨拶

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 課長 坂本明彦



このたび、四月一日付けの人事異動により、こども未来推進局長を命ぜられました。前任の野課長は、留萌振興局副局長に転出され、留萌管内の障がい者福祉をはじめとした福祉保健医療分野のほか、地域政策及び産業振興を担当することとなりましたが、引き続き連携を図りながら福祉施策の推進を図ってまいります。私は、今から十五年以上前ではございますが、障がい者福祉の業務を担当しておりました。

が、改めて初心に立ち返り、今後の職務に取り組んでまいります。障がいのある方々を取り巻く状況として、国においては、昨年十二月に障害者権利条約の締結に必要な国内法の整備を始めとする障がい者に係る制度の集中的な改革を行うために「障がい者制度改革推進本部」を設置するとともに、本年一月には、障がいのある方々も参画する「障がい者制度改革推進会議」を設け、障がい者施策のより推進に関する事項についての制度改革に向けた議論が開始されています。一方、道においては、「北海

平成二十一年度第二回理事会を開催

～新年度の事業計画案・予算案を審議～

北海道身体障害者福祉協会(会長赤坂勝)は三月十一日(木)、札幌市内で「平成二十一年度第二回理事会」を開催し、平成二十一年度事業計画案・収支予算案等の審議を行った。

重点に取組む事項

- ① 加盟団体活性化のための事業支援の拡充
 - ② 情報発信の充実(ホームページの刷新)
 - ③ 公益法人改革への対応検討
- 【主な事業】
- ① 協会の適切な運営
 - ・ 通常総会(五月十四日開催)
 - ・ 理事会(五月十三日開催)
 - ・ 組織検討委員会(年三回程度)
 - ・ 担当者会議(六月十日開催)
 - ② 全道福祉大会帯広大会
 - ・ 日時 十月十六、十七日
 - ・ 会場 帯広市民文化ホール
 - ③ 啓発

・ 広報と組織活動
・ ホームページの充実
・ 障がい者の雇用促進
・ 社会参加促進事業(働ける障がい者の雇用を促進し又は社会参加を促進するために加盟団体が)



理事会に出席された理事・監事の皆さん

道障がい者及び障がい児の権利擁護並びに障がい者及び障がい児が暮らしやすい地域づくりの推進に関する条例を昨年三月に制定し、これまで、障がいのある方やその家族の方々など、幅広い道民の皆さまからいただいたご意見を踏まえながら、障がいのある方々への支援体制づくりと就業支援を推進するための「地域づくりガイドライン」や「就業支援推進計画」の策定や道内十四の圏域に権利擁護などについて協議する「地域づくり委員会」の設置準備など、本年四月一日の全面施行に向けた取組みを進めてまいりました。今後とも、この条例が目指しております。障がいのある方の権利擁護、暮らしやすい地域づくりの推進、働く障がい者の方々への応援などのために様々な施策を進めてまいりたいと考えておりますので、加盟団体の皆さまには、引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

行う事業等に対して助成(拡充)

- ・ 雇用の促進を目的とした研修会、研究会
- ・ 職業安定所との打合せ、協議
- ・ 雇用のための企業等訪問活動、就業相談活動
- ・ 健康管理、健康増進のための研修会
- ・ スポーツ、運動、レクリエーションの活動又は講習会
- ・ 全道規模の福祉大会及びスポーツ大会への参加支援(助成対象団体が負担、支援した場合に限る)
- ・ 日本身体障害者福祉大会への参加支援 など

⑤ 福祉機器の基金の廃止

▼特別会計予算案

- ・ 廃止する福祉機器の基金原資の奨学金運営事業特別会計(ろうあ者奨学金基金・明星奨学金基金)への繰入れ。

「ご協力を」町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。

盲ろう者通訳・介助員養成講座開催

～十九名の通訳・介助員が誕生～

北海道身体障害者福祉協会(会長赤坂勝)は三月五日(金)から七日(日)の三日間、札幌市内の道民活動センタービルで、盲ろう者通訳・介助員養成講座を開催した。この講座は平成二十一年度から実施している。盲ろう者通訳・介助員派遣事業の一環として盲ろう者のコミュニケーション手段と移動介助の知識と技術等の講習を行なうことにより、通訳・介助員を養成する目的で行われた。概要は次のとおり。

開催日当日は、札幌市内はもとより、全道各地から十九名の受講者が参加し、三日間、一人の脱落者もなく熱心に受講した。この養成講座では、殆どの講義・実技は、盲ろう者の当事者が講師となり、盲ろう者とのコミュニケーションの取り方や、通訳・介助に当たって盲ろう者の意思を確認したり尊重することの大切さなどを学んだ。最終日の三月七日は十九名全員が、主催者である北身協赤坂勝会長から修了証書を受け取り、会長や講師の方々から温かい祝福を受けた。

最後に、この養成講座の講師を担当し、全面的に協力いただいた村岡美和氏(全国盲ろう者協会)と札幌盲ろう者福祉協会(富樫真弓会長)の皆さんには改めて感謝を申し上げます。



晴れて講座を修了された皆さん

盲ろう者の利用登録(通訳・介助員派遣事業)を受付中

北海道身体障害者福祉協会
電話 011-251-1551
FAX 011-251-0858

受講者募集 [平成22年度 要約筆記体験講座]

中途難聴者のコミュニケーション手段として必要な「要約筆記奉仕員養成講座」の開催前に、次のとおり要約筆記体験講座を開催します。

- 記
- 1 目的 要約筆記奉仕員養成講座の受講前に中途難聴者の理解や初歩的な要約筆記の基礎知識や実技などを体験することにより、この養成講座の円滑な実施に寄与する。
 - 2 募集対象者 平成22年度に開催する要約筆記奉仕員養成講座(8月～12月の間の土曜日・日曜日で12日間開催)の受講を希望する方。
 - 3 主催(主管) 北海道(社団法人北海道身体障害者福祉協会)
 - 4 定員・受講料 25名程度・無料
 - 5 体験講座
(1) 開催日時 平成22年7月31日(土)13時～15時
(2) 場所 道民活動センタービル10階1040会議室
 - 6 申込期限 平成22年7月12日(月)(必着)
 - 7 問合せ・申込先 社団法人北海道身体障害者福祉協会
住所 060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル4階
電話 011-251-1551 FAX 011-251-0858

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関守
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(011)241-0986

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(0166)241-5232

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(011)221-1406

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(0134)221-3042

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五の二
電話(0138)321-2656

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四条東五丁目
電話(011)241-2777

有限会社 三愛義肢製作所
帯広支店 帯広市大通南十五丁目二十番地
電話(0155)271-2489

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(0122)221-2643

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(0126)621-0931

有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二一
電話(0154)221-3811

北海道障がい者条例が本格施行

北海道障がい者条例(略称)が、平成二十二年四月一日から本格的に施行されました。先月に引き続き、主な施策の柱の二つ目となる「権利擁護」の概要についてお知らせします。

障がいのある方の差別や虐待をなくし権利擁護を進めます。

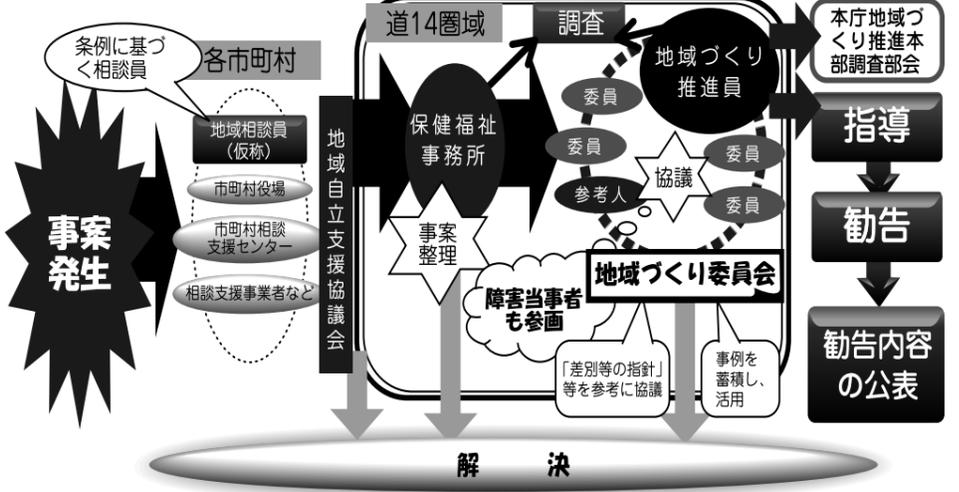
(二つ目の柱)

- ① 条例では差別や虐待を禁止するとともに、十四の圏域ごとに「地域づくり委員会」を設置し、この委員会が第三者的な立場から、関係者との話し合いによる差別などの解消に努めていくこととしています。
- ② 虐待や重大な権利侵害事案については、指導や知事による勧告などの手段により、その是正を図ることとしています。
- ③ また、この委員会では、地域づくりガイドラインに基づき市町村レベルに置かれる各種委員会と連携し、幅広い問題を協議します。

差別・虐待などへの対応 権利擁護システム を構築

■「暮らしづらさ」について、地域での相談から「地域づくり委員会」での協議を経ながら、「指導」「勧告」等に至る総合的な権利擁護システムを構築。
■協議に当たっては、「対話による解決」を基本としながら、悪質な事案については「指導」

- ① 差別、虐待その他の暮らしづらさについて、関係機関に相談
- ② 地域の相談気関で必要な対応。地域自立支援協議会等で協議
- ③ 地域づくり委員会の事務を行う保健福祉事務所担当へ申し出
- ④ 事実関係を調査の上、当事者を交え協議開始 ※必要に応じ、協議には当事者以外の障がい者も参考人として参加
- ⑤ 解決しなかった場合、指導・勧告等の改善措置へ。必要があれば推進本部へ。



町村協会だより 51 (網走管内美幌町) 創立六十周年の還暦を迎える

今回紹介する協会は、網走管内の東部に位置し、農業を基幹産業としている町であり、今年三月に行われたバンクーバー冬季パラリンピックで三つの種目に入賞した久保恒造選手の出身地でもある美幌町の身体障害者福祉協会(小形勇一会長)です。同協会は以前にも紹介していますが、今回は、創立六十周年を迎えたこと、これからの運営について、お便りがありましたのでご紹介いたします。

お便り

去る一月三十一日に美幌町身体障害者福祉協会創立六十周年記念式典が土谷町長、小林町議会議長、森町社会福祉協議会副会長の御来席をいただき、盛大に美幌グランドホテルにおいて挙行されました。当会は、昭和二十五年九月に諸先輩方々のご苦勞により創立されました。

現在、高齢化などにより会員が百十一名と減少しています。が、会長と副会長二名、会計一名、スポーツ部長一名、監事二

名、地区理事二十名のもと、元気で明るい運営活動を行なっています。この一年間の活動としては、道のスポーツ大会、網走支管内内スポーツレクリエーション大会の参加はもとより、全国スポーツ大会にも選手を輩出しています。この他年間行事計画として、春の日帰り研修旅行、親睦ゲーム大会、美幌町三者障がい者福祉団体親睦交流会、社協主催の「ふれあい広場」の参加、秋の一泊研修旅行、視覚障がい者の集い、重度障がい者家



創立60周年記念式典

庭訪問お見舞い、新年交流会等を相互共生の精神で行なっています。これからも、会員、役職員の全員が七十周年を目指して、明るく、健康で、活発な会の活動運営を期して行きたいと思っております。

年間優秀作品発表

この一年間に本紙に掲載された文芸作品(短歌五十二、俳句四十五、川柳七十五)の中から、次のとおり優秀作品が決定しました。入選された皆様、おめでとうございます。

短歌

釧路町 大道恵美子
つるつるの天然リンクの街の中心
児童ら転ぶも至って元気

〔選評〕 選者 内田 弘
(北海道歌人会代表代行)
生き生きと児童らの動きを歌ってよい歌だ。街のつるつるの道を「天然リンク」とした所も面白い。何よりも子どもは転んでも元気に起き上がってくる。それがいかにも元気そのものだととらえた。歌はこのように自然体で生き生きと歌いたいものだ。

俳句

恵庭市 西島 明
妻病むを諾ひ切れぬ余寒かな

〔選評〕 選者 木村 敏男
(北海道俳句協会顧問)
妻子が病むということは、誰にとっても到底うべない難い思

いであるが、余寒という季節がそれに輪をかけているようである。

川柳
北広島市 本多 司
台風一過案山子と笑う稲穂波

〔選評〕 選者 浪越 靖政
(北海道川柳連盟事務局長)
台風が去ってほっとした農家の方の気持ちがよく詠まれています。「案山子と笑う」という表現がユニークで、ほのぼのとした作品に仕上がりました。

若い郵便はがき無償配布

今年も郵便事業株式会社は重度の身体障がい者及び知的障がい者で配布希望者を対象に「若い郵便はがき」の無償配布を行う。

- ▼配布の対象者
① 重度の身体障がい者(一級又は二級の方)
- ② 重度の知的障がい者(療育手帳に「A」又は一度、二度)と表記されている方

▼受付期間
四月一日から五月三十一日まで

▼配布枚数
一人につき二十枚

※詳細は郵便局に問合せください。

お知らせ【平成22年度 第48回北海道障害者スポーツ大会の概要】

- 1 目的 障がいのある選手が、障がい者スポーツの全道的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを経験するとともに、障がいに対する道民の理解を深め、障がい者の社会参加の促進に寄与することを目的とする。
- 2 主催 北海道障害者スポーツ振興協会・北海道・深川市・妹背牛町・秩父別町・北竜町・沼田町・幌加内町
- 3 大会期日 平成22年7月11日(日) 全8競技
- 4 開・閉会式及び実施競技・会場
(1) 開会式・閉会式……各競技会場において開催
(2) 実施競技
【個人競技】
①陸上競技(身体・知的) 深川市陸上競技場 [深川市]
【団体競技】
①車椅子バスケットボール(身体) 深川市総合体育館 [深川市]
②フロアバレーボール(身体) 秩父別町生涯学習センター [秩父別町]
③サッカー(知的) 拓殖大学北海道短期大学サッカー場 [深川市]
④バレーボール(知的) 秩父別町生涯学習センター [秩父別町]
⑤バスケットボール(知的) 妹背牛町総合体育館 [妹背牛町]
⑥ソフトボール(知的) 北竜町営野球場 [北竜町]
⑦フットベースボール(知的) 沼田町農村野球場 [沼田町]
- (3) 代表者・監督者会議……大会当日の開会式前に各競技場において開催する。
- 5 申込期限 平成22年5月14日(金)必着
- 6 問合せ先 参加資格、参加料、宿泊、表彰等については、次のところに問合せください。
●主催団体 北海道障害者スポーツ振興協会 ☎011-261-6970
●大会事務局 深川市市民福祉部介護福祉課 ☎0164-26-2152

安心と実績で全道をネットする 認定補聴器専門店

岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビル1F

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市表町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中央町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282

本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目南東カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は

社会福祉法人 北海道リハビリ

身体障害者授産施設 リハビリリー・エイト

身体障害者授産施設 リハビリリー・クリーナース

障害福祉サービス事業所 リハビリリー・おおぞら

身体障害者授産施設 札幌ワークセンター

地域活動支援センター ポールス

障害福祉サービス事業所 セルブさっぽろ (ウエルプラザやまはな)

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人事務所 北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111(代) FAX (011) 375-4051

NISSIN 株式会社

ニッシン自動車工業

北海道支店

身体障害者用・自動車運転装置/販売・取付

岩見沢市志文町九二二二二
電話(011)261-2311

HOP ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階

TEL (011) 748-1631
FAX (011) 748-1631

リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣
介護保険に関するお問い合わせ、お申し込みは

クリーニングは光生舎

光生舎 クリーナース
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルムライジング
光生舎 ライトスラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 クリーンセブン
光生舎 スラザインサッポロ
光生舎 虹の星
光生舎 虹の星デイサービスセンター
光生舎 フォーレビラ
ケアハウス すいこう

○施設の利用を希望される方は
お気軽にご相談下さい。

連絡先 (社)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
担当 厚生部

LP 株式会社

ライフパス

札幌市北區篠路一条八丁目六番三〇号
電話 (011) 771-1471
FAX (011) 771-1471

リフト付貸切バス
ハートケア福祉タクシー(ストレッチャー対応)

有限 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八番地八
電話代表(011)261-2111